



ひょうご消防のつどい2019

消防団・消防本部の幹部等約六〇〇名が丹波市に集合!

ひょうご消防のつどい 二〇一九の開催



発行所
公益財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 岸 谷 義 雄
題字 井 戸 知 事

無事故への
構え一分の
隙も無く

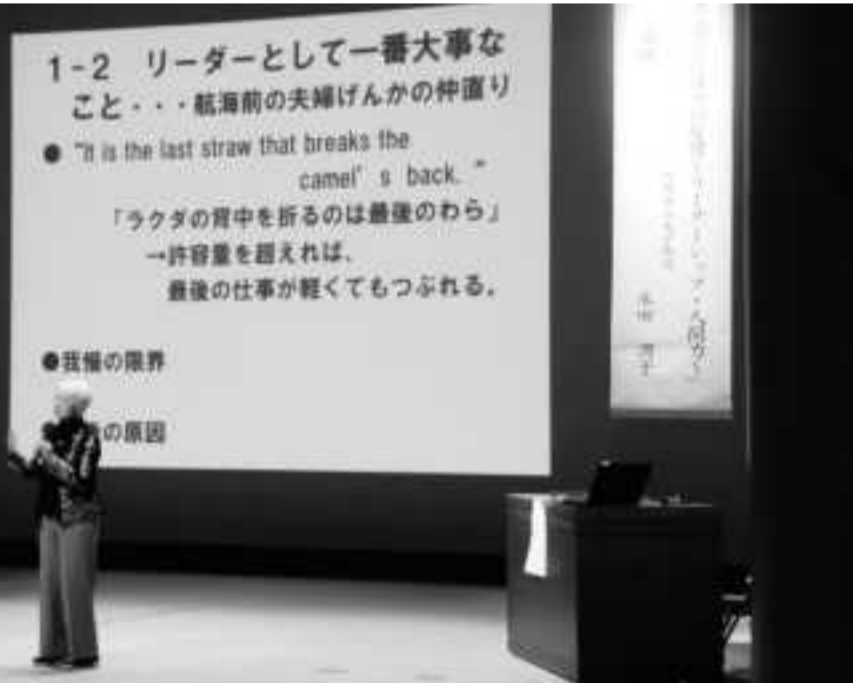
令和元年十一月三日(日) 県立丹波の森公苑において、ひょうご消防のつどい二〇一九が開催されました。

このつどいは、兵庫県下の消防本部・消防団の幹部等と共に集い、永年にわたり消防業務に従事してきた消防職員・消防団員の功績を讃えた表彰を行うとともに、幹部の研修を行い、士気の高揚と知識・技術の研鑽を深めることを通じて消防人の強固な団結と消防機関の連携体制強化することを目的に実施しております。

本年度の第一部は、大阪府立大学大学院教授の永田潤子氏を講師に迎えて「海で学んだ日々の習慣〜リーダーシップ・人間力〜」と題し、ご講演をいただきました。リーダーのあり方について考える、良い契機となりました。

第二部では、知事表彰及び県協会長表彰の授与を行いました。

なお、今年度の表彰の栄に輝いた団体・個人は次のとおりです。(敬称略)



永田潤子氏 講演

1-2 リーダーとして一番大事な
こと・・・航海前の夫婦げんかの仲直り
● "It is the last straw that breaks the
camel's back."
「ラクダの背中を折るのは最後のわら」
一件容量を超えれば、
最後の仕事が軽くてもつぶれる。
● 我慢の限界
の原因

- 兵庫県知事表彰
- 表彰旗 神戸市須磨消防団
 - 竿頭綬 芦屋市消防団
 - 豊岡市豊岡消防団
 - 加古川市消防本部
 - 功労章
 - 消防吏員 八六名
 - 消防団員 四六名
 - 永年勤続功労章
 - 消防吏員 一一四名
 - 消防団員 二八三名
- 随時表彰
- 個人
 - 尼崎市婦人防火クラブ
 - 連絡協議会
 - 副会長 杉山 豊子
 - 団体 宝塚大劇場
 - 知事感謝状
 - 永年勤続功労者賞 五名
 - 家族の賞
 - 消防吏員 一〇三名
 - 消防団員 四五一名
 - 親子二代の賞 四六組



長岡兵庫県議会議長 祝辞



金澤兵庫県副知事 式辞



岸谷会長 あいさつ

- 消防協力者賞
 - 尼崎市 水田 信繁
- 兵庫県消防協会会長表彰
 - 表彰旗 たつの市消防団
 - 優良竿頭綬 神戸市西消防団
 - 姫路市飾磨消防団
 - 朝来市消防団
 - 功績章 一三二名
 - 精績章 二二三名
 - 勤続章 五六九名



長岡兵庫県下消防長会会長 祝辞



大西秀師氏 代表謝辞



谷口丹波市長 あいさつ

- 精勤章 四二一名
- 夫婦団員の賞 五組
- 兵庫県消防協会会長感謝
 - 家族の賞(三〇年以上) 九二名
 - 家族の賞(四〇年以上) 一八名
 - 家族の賞(五〇年以上) 二名
 - 永年勤続賞 二名



第二五回全国女性消防団員活性化 青森大会開催！

(公財)兵庫県消防協会事務局



開会の様子

第二五回全国女性消防団員活性化青森大会が、令和元年九月一九日(木)にマエダアリーナ(青森市)で開催されました。



会場入口看板

青森山田高校吹奏楽部によるウエルカムコンサートで幕を開けた本大会は、大会旗入場、開会宣言、国歌斉唱、主催者挨拶、開催地市長挨拶、来賓祝辞と進行し、続いて先進的な活動をされている四団体の活動事例発表と、三団体



会場舞台

われしました。最後に、大会宣言と次回開催地である徳島県へ大会旗の引き継ぎが行われ、閉会宣言の後に、大会は幕を閉じました。

の防火防災啓発劇の発表が行われました。その後、青森山田高校サッカー部監督の黒田剛氏により「自ら変わろうとする強い思いが、人生を変える！勝ち続ける組織を作る！」と題して記念講演が行われ、続いて、「女性パワーと地域防災」をテーマとしたシンポジウムが行われ、最後に、大会宣言と次回開催地である徳島県へ大会旗の引き継ぎが行われ、閉会宣言の後に、大会は幕を閉じました。

兵庫県からの参加団体は次のとおりです。
神戸市東灘消防団・神戸市灘消防団・神戸市北消防団・神戸市長田消防団・神戸市垂水消防団・神戸市中央消防団・姫路市姫路東消防団・姫路市姫路西消防団・姫路市飾磨消防団・尼崎市消防

本大会で得られた多くの学びを、それぞれの消防団活動に活用していただき、兵庫県の地域防災力強化にご助力賜りますようお願いいたします。



PR展示【神戸市消防団】



100円ショップで揃う防災グッズ【会場外にて展示】

大会後は、ホテル青森にて情報交流会が開催され、全国の女性消防団員が和やかな雰囲気の中で、情報交換が行われました。
この度の大会は、遠方にも関わらず兵庫県から岸谷会長以下総勢五三名が参加しました。また、神戸市の消防団の皆さんが会場外のPR展示コーナーにて活動内容の展示をされ、全国の女性消防団員の皆さんが足を止めて熱心に閲覧されていました。
今回の開催地は徳島県徳島市「アステイとくしま」で、令和二年一月一九日(木)に開催されます。比較的近隣での開催となりますので、兵庫県からたくさんの方々が参加されることを願っています。

第38回全国消防殉職者慰霊祭

(公財)兵庫県消防協会事務局



第38回全国消防殉職者慰霊祭

主催 公益財団法人 日本消防協会 後援 消防庁

第三八回全国消防殉職者慰霊祭が、令和元年九月一二日、日本消防会館ニッショールホールにおいて、厳粛に執り行われました。

本慰霊祭において合祀されている御霊は、生前に郷土愛護の精神に燃え、住民の生命身体及び財産を災害から守るため、身を挺し消防・救急活動を行い不幸にも殉職された全国の消防団員・職員及び一般協力者の方々です。

祭壇には、今回あらたに五柱の御霊が合祀され、あわせて五、七六二柱が奉納されました。
式典には当県から、岸谷会長をはじめご遺族二名が参列し、黙祷を捧げた後、秋本日本消防協会長の式辞、安倍内閣総理大臣、高市総務大臣からの追悼の言葉に続き、遺族代表による追悼の言葉がありました。
その後は参列者が故人の冥福を祈り献花を行い、江戸消防記念会から鎮魂の歌(木遣り)が披露され、式典は厳かに滞りなく終了しました。



第84期 初任教育 査閲

半年間の訓練成果を披露！

(公財)兵庫県消防協会事務局

第84期初任教育生スローガン『初志貫徹 負けるな 努力しろ 市民のために』



ポンプ操法

第84期初任教育生スローガン

「初志貫徹

負けるな 努力しろ 市民のために」

を胸に消防人として第一線へ！！

九月二一日(土)、兵庫県消防学校にて第八四期初任教育査閲が執り行われました。四月に県内各消防本部から入校し、消防職員として必要な基礎知識、技術の習得など、即戦力として消防活動に対応できるように、半年間の厳しい訓練を経て、一五二名がこの査閲の日を迎えました。

この日は入校式の時よりもで逞しく精悍な姿で、訓練の成果を保護者の皆さんや所属消防本部の幹部の方々へ披露しました。

分列行進から始まり、それぞれの班に分かれて、消防活動基本訓練、機器取扱訓練や救助訓練、火災対応訓練など、学んだ技術を余すところ無く発揮しました。

第八四期初任教育生の皆さんは、入校当初より、どんな困難な場面に直面しても、強い心を持ち、決して諦めることなく市民を必ず守るという決意を込め「初志貫徹 負けるな 努力しろ 市民のために」というスローガンを掲げました。このスローガンを胸に、半年間の辛く厳しい日々の中で体力の限界を感じ、くじけそうになった時も、仲間のため、目の前の市民を助けるため、諦めることなく努力し続け、声を出し続けながら一五二名が心をひとつにして数々の厳しい訓練を乗り越えてきました。現場の第一線に立つこれからも、このスローガンを心に刻みつけ、市民の安全安心のため活動に邁進することとします。

第八四期初任教育生の皆さま



岸谷会長 激励のことば



観閲

藤森消防学校長からの式辞の中に、「皆さんは大きく成長する力を持っている。これから何事からも逃げず、自分に言い訳をせず、素直に真っ直ぐに、恥をかくことを恐れずに、何事にも積極的に取り組んで欲しい。どんな環境におかれても、懸命に、必死に踏ん張って欲しい。」とのお言葉がありました。この半年間の厳しい訓練を耐え抜きたく大きく成長された教育生の皆さんが、消防士として更なる成長を遂げるために日々自己研鑽に励み、兵庫の安全と安心を守り続けてくれることを期待しています。

(次ページに関連写真)



分列行進





火災対応訓練



機器取扱訓練



県消防防災航空隊による救助訓練



救助訓練



神戸市消防音楽隊 演奏



消防活動基本訓練



卒業式

秋季全国火災予防運動 の実施

消防庁予防課

実施期間

令和元年十一月九日(土)
から十一月十五日(金)

目的

この運動は、火災が発生しやすい時期を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的とします。

令和元年度
全国統一防火標語

『ひとつずつ
いいね!で確認
火の用心』

重点目標

- (一) 住宅防火対策の推進
- (二) 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
- (三) 放火火災防止対策の推進
- (四) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- (五) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- (六) 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底

住宅防火 いのちを守る
七つのポイント

三つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストープは、燃えやすい

四つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。
- ものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。



キャンペーンポスター

「令和2年度 危険物安全週間推進標語」の 募集について

消防庁

【防災まちづくり大賞とは】

消防庁では、毎年6月の第2週を「危険物安全週間」とし、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を全国的に推進しています。この「危険物安全週間」を推進し、危険物の保安に対する意識の高揚を図るため、「危険物安全週間推進標語」を募集しています。

【募集締切】

令和元年12月19日(木) 必着

【あて先】

(一財) 全国危険物安全協会内 危険物安全週間推進協議事務局
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16 日本消防会館5階
URL <http://www.zenkikyo.or.jp/>
(パソコン、スマホ、タブレット、携帯から応募可能です。)





『市川町消防団婚活イベント』

市川町消防団

市川町は、兵庫県のほぼ中央に位置するハート型をしたまちです。町の中央部を清流市川が流れ、その昔、船渡しに十石舟が往来した穏やかな川面に、田園と山並みが映ります。「羅生門」「七人の侍」など、日本映画の黄金期を築くとともに、世界的にも認められているシナリオライターの第一人者である故橋本忍氏の生まれ故郷でもあります。



牧田団長

市川町消防団は二六分団で構成しており、団員平均年齢は三二・五〇歳と県下トップクラスの、若者の活気があふれる消防団です。

市川町消防団の活動については、火災出動は当然のことながら、出初式、幹部・新入団員教養訓練、毎年行われる町操法大会、地元住民との合同訓練、水防訓練、春・秋の火災予防啓発運動などがあります。近年は、行方不明者の捜索が増えてきていますが町民が安心して暮らせるまちづくりに貢献しています。

最近、団の状況を見渡してみると、未婚率が高く、団だけなく町としても非常に心配しているところなんです。そこで、平成二八年度から、全国的に開催されている「婚活イベント」を市川町消防団員を対象に開始しました。男性の参加者は消防団員、女性参加者は町内・町外問わず広く募集し、これまで五回開催し、カップル成立は二〇組、そのうち一組は成婚されました。

町内の施設を活用し、自然豊かな市川町で団員に出会いの場を提供しています。バーベキューや、縁結びの神社などを利用したり、ゲームなどの催しを通して、男女の交流を図り今後も、楽しいイベントを行っていきます。

消防団には、責任ある行動と町民の安全、安心のため、今後も一致団結して邁進していただくとともに、婚活イベントなどの明るい話題も踏まえながら人口減少対策・団員確保に繋がることを期待しています。



婚活イベントの様子

『更なる消防力向上を目指して』

太子町消防団

聖徳太子ゆかりの歴史と伝統を培う太子町は、兵庫県の南西部、播磨平野が広がる西播磨の一角にあり、東部及び南部は姫路市と北部及び西部はたつの市とそれぞれ接しています。

太子町消防団の歴史は、昭和九年旧町村単位での消防組の結成に始まり、昭和二六年四月、町村合併により太子町消防団が発足しました。現在は五〇分団、消防ポンプ自動車五台、小型動力ポンプ三三台、四二六名の団員で組織され、日夜消防団活動に精励しています。

また、消防団への加入促進及び昼間の防災力向上を図るため、平成三一年四月から企業連携消防団を編成し、八名の団員が入団しました。

主な活動事例

消防操法大会

消火活動の基礎となる消防操法技術の向上と士気の高揚を図り、有効適切な消防活動を確保することを目的とし、消防人としてより一層の自覚と連携を高めるため、毎年、消防操法大会を実施しています。また、太子町独自の消火栓操法も実施しています。



操法大会『太子の伝統消火栓操法』

普通救命講習会

消防職員の指導により毎年実施しています。一時救命処置の手順として、止血、心肺蘇生法及びAEDの使用について基礎から学び、実りある講習を行っています。



普通救命講習『心肺蘇生法』

消防出初式

消防団関係の士気の高揚と、地域住民への消防理解及び防火意識の向上を図ることを目的とし、年頭に消防出初式を挙行しています。



消防出初式『はしご乗り』

文化財防火訓練

文化財防火デーに伴う行事の一環として、文化的建造物を対象とした消火訓練を消防団、地域住民、消防署と合同で実施しています。これは、地域住民の防火意識の向上、消防団員の技術向上を図るとともに、文化財愛護思想の高揚を目的としています。



文化財防火訓練『一斉放水』

林野火災訓練

春季火災予防の一環として、林野火災の予防思想の普及を図るとともに、広範囲かつ長時間の活動が懸念される林野火災現場における指揮統制の確立、防御技術の向上及び災害時の連携強化と消防署、消防団との協力体制の強化を図ることを目的とし実施しています。



林野火災訓練『山頂からの放水』

われら 若手消防団員

～学生消防団員として～

神戸市長田消防団 中村 駿介



私は平成二八年に神戸常盤大学に入学し、神戸市長田区で一人暮らしを始め、長田の地域のことを知りたいたいと思い、入学と同時に神戸市長田消防団に入団しました。消防団は消火訓練や救命講習など非常時の知識を学ぶだけでなく、予防広報活動などを通じて地域の方々と交流できることも魅力だと感じています。私が実際に消防団で活動してみると学ぶことが多くありました。

広報活動として地域のイベントに参加した際に「長田救命体操」を披露しました。近くの小学校に通う児童から大人の方まで一緒に体操し、楽しみながら命を救う大切さや、救命の方法を伝えることができました。さらに、市民救命士のインストラクター資格を取得する際に、普段の生活では学ぶことができない専門的な知識を神戸市消防学校で実践的に学びました。今ではこの経験を大学内でも活かし、同級生や下級生に心肺蘇生法などの非常時の行動を指導しています。これからさらに積極的に活動し、より深い知識や技能を身に付けていきたいと考えています。私の夢は小学校教員になることで、私が将来教壇に立った時、消防団での活動経験を活かし、命の大切さや、地域の一員として仲間を救う必要性を伝えていこうと考えています。



わが町の団長さん

「消防団新時代へ」

加西市消防団

中植 良一



加西市は兵庫県の南部、播磨平野のほぼ中央部に位置しており、「花と緑のまち、加西」にふさわしい観光スポーツト県立フラワーセンター、また、第二次世界大戦末期に鶴野町周辺に開設された姫路海軍航空隊（昭和二〇年閉隊）の一、二〇〇メートルもの滑走路や機銃座や防空壕がそのまま残っており、全国でも大変貴重な遺構として注目されています。最近ではこの鶴野で組み立てられ、試験飛行していた戦闘機紫電改を実物大模型として再現し、平和学習にも役立てています。

昭和四二年四月一日に、加西市の誕生とともに発足した加西市消防団は、現在一二分団、九九部、一、三八九名の編成で日々消防団活動に取り組んでいます。

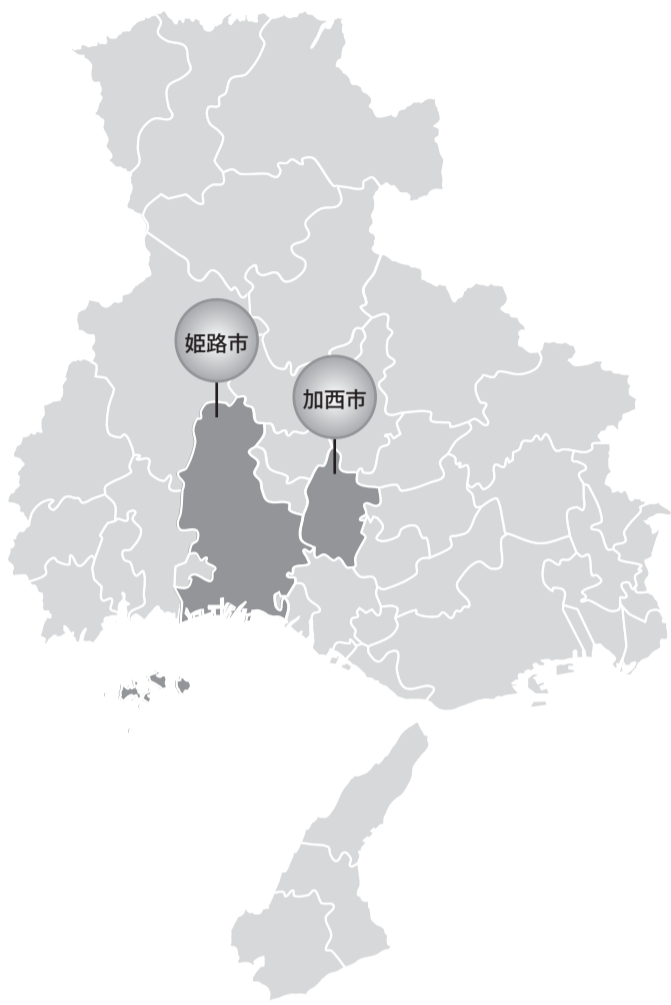
中植団長は、昭和六〇年に入団以来、持ち前の行動力と統制力が認められ、分団長、副団長を歴任し、本年度から第一一代団長として就任されました。就任後はその手腕を遺憾なく発揮され、消防団運営に邁進されています。

団長は、地域防災力の向上のため、消防団と自主防災組

織が連携を高めることに重点を置き、自治会の防災訓練においては、消防団員がリーダーシップを発揮できるように団員の能力向上に努められています。

また、昨年に発足した加西市消防団あり方検討委員会に委員として参加し、消防団員の処遇改善、定数の適正化、消防団員の装備及び資機材の充実等について、積極的に意見を述べられ、若者世代の団員がモチベーションを高め、団員が誇りと責任をもって活動できるために、新たな方向性を打ち出され消防団新時代に相応しい団長です。

昨今、新入団員の確保が困難となる一方、消防団の重要性は益々高まっています。今後も災害の無い安全安心な加西市にするために、地域防災のリーダーとして活躍されることを期待しております。



「われらがスーパースター☆」

姫路市姫路西消防団

長谷川 一信



姫路西消防団の長谷川団長は、明るく気さくな人柄で、通称「ひげの団長」と呼ばれいくつもの顔を持つ「スーパースター」です。

団長の稼業は「お豆腐屋さん」です。地元の小学校に赴き、豆腐作りを小学生に体験させ「生きる力」を育む食育に取り組んでいます。

団長は「子供は日本の宝である」の言葉を胸に、長年にわたり子供たちにソフトボールを教えたり、スクールヘルパーとして見守り活動を行っています。

長谷川団長は子供たちの人

気者です。子供たちは親しみを込めて団長を「スーパースター」と呼んでいます。

団長は、子供から大人まで困っている人がいれば必ず声をかけます。だから、団長の周りには、いつも人の輪ができてきます。宴会ではお盆片手に踊りだす芸達者で愉快な団長を地元で知らない人はいません。

消防団では、団長は「器具愛護」をモットーに実践的な訓練で団員を指導しています。自身も営業用の白のワンボックスカーに防火衣、長靴、ヘルメット等に乗せ、災害が発生すればそのまま現場へ直行し、現場活動の陣頭指揮を執っています。団長は二四時間、気配り目配り手配りと、いつでもどんな災害にも対応する準備をしています。

地元の人々と一緒に地域に密着した活動を行いながら互いに信頼関係を築き、消防団長として団員と共に地域を守る長谷川団長は「われらがスーパースター☆」です。

がんばってます、女性消防団員

『頑張ってますー！』

Sumoto菜の花Angels

洲本市消防団

「Sumoto菜の花Angels」

洲本市消防団に最初の女性消防団員が入団して五年。現在は、団員数七名（令和元年一〇月一日現在）で【Sumoto菜の花Angels】（愛称）として日々防火防災の啓発活動に取り組んでいます。初めは消防操法大会などのスタツツ的な活動ばかりでしたが、現在では地域イベントに消防団ブースを設置し、防火啓発や団員の募集活動を行ったり、高齢者宅への防火訪問をしたり、車両による防火広報活動を行っています。

しかし、女性消防団員の認知度が低いため、少しでも自分達の存在や活動を知ってもらえる

ように、Facebookによる情報発信を試みています。お時間のある方は是非ご覧ください！
今後は現在の活動を継続的に行うことはもちろんのこと、保育園や小学校の小さいお子さんを対象とした防火講話を積極的に、小さい頃から消防団を知ってもらおうと考えています。

市の花である菜の花が春になると畑一面に広がるようにSumoto菜の花Angelsも活躍の場を広げ、もっと皆さんに親しんで頂きたいと考えています。これからの活動にご期待ください！！



高齢者施設へ防火訪問しました！



防災訓練で水消火器の指導を行いました！

地域のお知らせ

神戸市北区

神戸市北区山田町の伝統文化

神戸市北区山田町は、六甲山系と丹生山系に挟まれた谷筋に開けた地域で、その昔、山陽道の裏街道として利用されたため、都の文化が早くから伝わったと言われています。近年では、新神戸トンネルの開通や地下鉄、高速道路の整備、また、昭和四十年代から進む宅地開発により、古い町と新しい町が融合する地域になっていますが、農業も盛んで、酒米の「山田錦」や切り花用の「菊」は全国的にも有名です。

【六條八幡宮の神幸祭】

毎年九月の第三日曜日に山田町の総鎮守社「六條八幡宮」において、地域の災いを祓い、五穀豊穡と地域の安寧を願って山田町十三地区が持ち回りで神輿を担ぐ「神幸祭」が斎行され、山田地区の消防団員を中心とした若者約六〇名が華麗に神輿を担ぎます。

この六條八幡宮には三重塔がありますが、国の重要文化財に指定されており、室町期の優雅な姿を現在に伝えています。



流鑄馬神事

【六條八幡宮の流鑄馬神事】

毎年十月の第二日曜日には、武神を祀るとされている六條八幡宮ならではの流鑄馬神事が斎行されます。これも神幸祭と同様、地域の安寧や五穀豊穡を願って、地域内にある大蔵神社、七社神社及び六條八幡宮にて例祭を行った後、七社神社及び六條八幡宮にて流鑄馬神事を行います。

特に六條八幡宮の流鑄馬神事は圧巻で、馬を駆けさせ弓を引き、矢的を射抜くと、的の杉板が飛び散ります。見物客からは拍手と歓声が上がります。

この流鑄馬神事は、平成九年に神戸市の無形民俗文化財に登録されています。

【農村歌舞伎舞台】

八四〇年頃に復興されたとされる下谷上地区の天彦根神社境内にある、国指定民族文化財の農村歌舞伎舞台は、回り舞台やせり上げり舞台、花道のどんでん返しなど様々な機構を備えています。また、上谷上地区の天満神社境内にも農村歌舞伎舞台があり、四つの床几を田の字に合わせ、表裏に飾った背景を回転させて回り舞台とする「床几回し」という珍しい舞台があります。



農村歌舞伎

他の地区にも二箇所の舞台があり、それぞれ四年に一回程度順に上演されますが、珍しいことと見応えもあることから人気が高く、遠方から沢山の方がお越しになられます。舞台の上演時には、準備も含め消防団員や地元の住民が協力し、舞台を回すなど裏方として参加しています。今回ご紹介したのはほんの一部ですが、山田町にはまだまだ沢山の伝統神事や芸能、文化が溢れています。この地域で暮らす者として各種伝統行事に参加し、自然に地域と共に生きていくことに誇りを感じています。神戸にお越しの際は、北区山田町にも是非お立ち寄りください。

いつかきつと帰りたくなるまち

淡路市

淡路市は、淡路島北部に位置し、人口は約四四、〇〇〇人です。本市は、二〇〇五年四月に岩屋・東浦・津名・北淡・一宮の五地区より合併し誕生しました。五地区にはそれぞれの特徴があり、その内容をみなさまへ発信いたします。

●市の玄関口であるまち——岩屋地区

古くから交通の要衝として重要な役割を果たしてきたのが岩屋地区。勝海舟が築港した「徳島藩松帆台場跡」が発掘され、交通の要衝であることは、今も変わりなく、大阪湾海上交通センターや江崎灯台が海上交通の安全を守っています。

また、淡路SAは「ハイウェイオアシス」と呼ばれ、行き交う人々の憩いの場となっています。淡路島の代表的な絶景ポイントでもあり、観覧車がランドマークとなっています。



淡路島の近代景勝地「淡路SA」からの夜景

●交通アクセスの便利がいちまち——東浦地区

花の生産が盛んな地区で、カーネーションの生産は県下一です。

また、京阪神からの公共交通機関でのアクセスがよく、東浦バスターミナル周辺の国道二八号付近は、スーパーマーケットやホームセンター、飲食店・病院などが立ち並び、生活するのに便利なまちです。



市の花 カーネーション

●伝統文化を今もなお継承するまち——津名地区

淡路市の中心市街地である津名地区は、古くから大阪との通船や文化交流が盛んな地域であったといわれ、全国的に有名な茶道・裏千家の十二代目が拠点を置いていました。地域の人々の生活には、今もなお、茶道が深く根付いており、新年には初盆が行われるなど、文化的な暮らしを今に継承する地区です。

●歴史とのかかわりが深いまち——北淡地区

阪神・淡路大震災で地表に表れた野島断層(国の天然記念物)を展示する北淡震災記念公園があり、日本最大級といわれる鉄器工房跡「五斗長垣内遺跡」が発掘されました。

歴史とのかかわりが深い地区で、桓武天皇と早良新王の崇りを鎮めるため建立した常陸寺や巨石信仰と関わりがあるとされている女人禁制の石上神社が鎮座します。

●地場産業の盛んなまち——一宮地区

日本の国はここからはじまった！国生みの神話発祥、淡路一宮の地です。伊勢神宮天照大神をお生みになられた伊弉諾・伊弉冉の二柱の神様をお祀りしている日本最古の社「伊弉諾神宮」が鎮座します。

また、地場産業では、線香産業が盛んな地区で、国内生産量の約七〇パーセントを生産していると言われています。



色・形・香り多彩なお香

このほかにも、たくさんのお見どころがある淡路市にぜひお越しください。



編集後記

朝夕冷え込むようになり、冬はもう目の前ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今月号では一面に、ひょうご消防のついで二〇一九の記事を掲載しております。当日は多くの方にご参加いただき、充実した式典を開催することができました。皆様のご支援、誠にありがとうございました。また、開催にあたっては丹波地区の皆様をはじめ、たくさんの方のご協力をいただきましたこと、改めてお礼申し上げます。

また二面には、全国女性消防団員活性化青森大会の記事を掲載しております。是非ご覧ください。

これからの時期は空気が乾燥し、また、暖房器具を使う機会が多くなることから、火災が非常に発生しやすくなります。火の取扱いは十分ご注意ください。

